



とこなめ陶の森 陶芸研究所

DOCOMOMO Japan「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」選定記念フォーラム

堀口捨己と常滑市立陶芸研究所

11月23日(月・祝)午後2時～8時

講演・シンポジウム

パネラー(講演順)

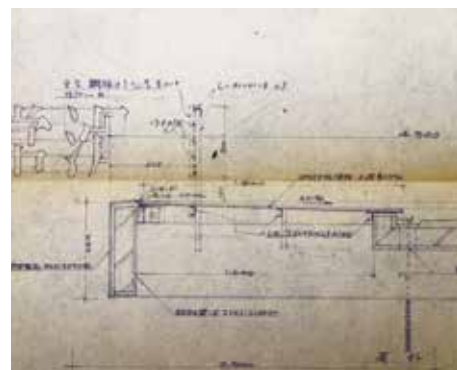
松隈 洋 [DOCOMOMO Japan代表、京都工芸繊維大学教授]

後藤泰男 [LIXIL広報部文化企画Gグループリーダー、学芸員] + 小栗康寛 [とこなめ陶の森資料館学芸員]

藤岡洋保 [東京工業大学名誉教授]

見学会 定員30名(要予約、先着順)

講演・シンポジウム 定員80名(要予約、先着順)



設計図 入口の庇とロビー文字部分



テープカットする斎藤幹根愛知県知事(当時)。その後列右より、谷川徹三、堀口捨己、伊奈長三郎。



INAX ライブミュージアム

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL. 0569-34-8282 FAX. 0569-34-8283
<http://www1.lixil.co.jp/ilm/>

LIXILグループ



とこなめ陶の森 陶芸研究所

DOCOMOMO Japan「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」選定記念フォーラム

堀口捨己と常滑市立陶芸研究所

11月23日(月・祝)午後2時～8時

とこなめ陶の森 陶芸研究所(旧 常滑市立陶芸研究所本館)が DOCOMOMO Japan「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されたことを記念し、見学会及びシンポジウムを開催いたします。

モダニズム建築としての特徴や堀口捨己の設計思想について理解を深めるとともに、常滑陶業の発展に尽力した伊奈長三郎が陶芸研究所設立に果たした役割とその思い、そして地域に根付いた建築と施設など、現代の建築に求められている課題をそれぞれの立場や見地から見ていただけるものになるものと思います。ご参加をお待ちしています。

見学会 定員30名(要予約、先着順)

玄関ロビー吹き抜けの階段

午後2時～/とこなめ陶の森 陶芸研究所(旧 常滑市立陶芸研究所本館)

※2～3班に分かれて建物内外を見学、その後、常滑の街並み～INAXライブミュージアムをご案内

講演・シンポジウム 定員80人(要予約、先着順)

午後4時30分～/INAXライブミュージアム「世界のタイル博物館」

第1部

「Docomomoの歴史と、常滑市立陶芸研究所本館 選定の理由」

松隈洋 [DOCOMOMO Japan 代表、京都工芸繊維大学教授]

第2部

「伊奈長三郎が常滑市立陶芸研究所に込めた思い」

後藤泰男 [LIXIL 広報部文化企画 G グループリーダー、学芸員]

小栗康寛 [とこなめ陶の森 資料館 学芸員]

第3部

「堀口捨己の設計思想」

藤岡洋保 [東京工業大学名誉教授]

懇親会 午後6時30分～/講演・シンポジウム会場内にて 参加費2000円、要予約

予約方法

「見学会」「講演・シンポジウム」「懇親会」とも、E-Mail、FAXにてお申込みをお願いします。

「陶芸研究所選定記念フォーラム」と明記の上、1.参加者のお名前 2.参加される会「見学会」

「講演・シンポジウム」「懇親会」 3.連絡先(電話番号) 4.参加人数を記載の上、お申し込みください。

申し込み先:FAX:0569-34-8283 E-Mail: event.ilm@lixil.com

問い合わせ: INAXライブミュージアム 愛知県常滑市奥栄町1-130 TEL:0569-34-8282



とこなめ陶の森 陶芸研究所(旧 常滑市立陶芸研究所本館)

設計 堀口研究室(堀口捨己)/施工 松井建設株式会社/竣工年 1961(昭和36)年10月/構造 鉄筋コンクリート造地下1階・地上2階建/面積 延510.77平方m/特徴 淡い紫の外壁は、常滑焼の窯から流れてくる煤を洗い流せる当時最先端技術であったカラコンモザイクタイルが張られている。屋上には四方にモールガラスを張った三角屋根が突き出し、展示室に自然光が終日入る仕組みとなっている。3.5m深い底の日本建築の伝統に、ガラスブロックやプラスチックパネルなどの最新素材を使うことで現代的な空間を作り上げた。

堀口捨己 ほりぐち・すてみ(1895～1984年)

岐阜県生まれ。東京帝国大学工科大学建築学科卒業。分離派建築会として、過去の建築様式からの脱却を目指し活動。平和記念東京博覧会公営課技術員、清水組技師を務めたのち、1925(大正14)年頃から本格的に設計活動を開始。「数寄屋造」を日本建築の真髄と位置づけ、日本建築の普遍性を取り入れつつ現代社会に適応した建築をつくり続けた。

伊奈長三郎 いな・ちようさぶろう(1890～1980年)

愛知県常滑に、陶工・伊奈長三郎の六代目として生まれる。「帝国ホテル煉瓦製作所」の技術顧問を務め、のちに1924(大正13)年に伊奈製陶株式会社(現LIXIL)を創業、衛生陶器およびタイル製造を始め、トップメーカーに育てた。同時に、常滑の近代窯業の開発と発展に尽力した。常滑陶芸の興隆を念願し常滑市に自社株式を寄付、それをもとに1961(昭和36)年に陶芸研究所が建設・竣工した。



とこなめ陶の森 陶芸研究所への交通

バス

名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より知多バス「知多半田駅」行き「奥栄町」下車徒歩7分
お車(乗用車・バス駐車場完備)
名鉄線「常滑駅」より約5分/中部国際空港より約10分(セントレアライン「りんくうIC」降りる)/知多半島道路「半田IC」より約15分/セントレアライン「常滑IC」より約7分
〒479-0822 愛知県常滑市奥栄7-22
TEL. 0569-35-3970 FAX. 0569-35-3970
<http://www.tokoname-tounomori.jp>

INAXライブミュージアムへの交通

バス

名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より知多バス「知多半田駅」行き「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分
お車(乗用車・バス駐車場完備)
名鉄線「常滑駅」より約6分/中部国際空港より約10分(セントレアライン「りんくうIC」降りる)/知多半島道路「半田IC」より約15分/セントレアライン「常滑IC」より約7分
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL. 0569-34-8282 FAX. 0569-34-8283
<http://www1.lixil.co.jp/ilm/>